

医療法人青鳳会 美摩病院 広報誌

せいほう

日本医療機能評価機構認定

表紙題字: 検査室 松浦

第25号

発行: 医療法人青鳳会 美摩病院

住所: 徳島県吉野川市鴨島町

上下島497

電話: 0883-24-2957

フィリップス社製 Achieva dStream 1.5T

特集

新型MRI、何が変わった? — 放射線室主任インタビュー



- 🍊 セミセルフレジ導入
- 🍊 かもじま阿波おどりに協賛
- 🍊 新入職員紹介
- 🍊 栄養室便り

特集

MRI装置更新

美摩病院ではこのたびMRI装置の更新を行いました。新しくなったMRIの特徴や、患者さんへのメリットについて放射線室の榎本主任にお話を伺いました！

放射線室榎本主任に聞く、MRIの進化

？
そもそもMRIはどんな検査で、どんな病気の発見に役立つのでしょうか？

MRIは、強力な磁石と電波を使って体内を詳しく画像化する検査です。放射線による被ばくがなく、筋肉や靱帯、神経などの軟部組織や小さな病変の観察に優れています。整形外科では靱帯損傷や椎間板ヘルニア、隠れた骨折など、脳外科では初期の脳梗塞の診断に役立っています。

？
以前のMRIと比べて、新しくなった一番大きな変化は何ですか？

新しいMRI装置（フィリップス社製）は、デジタル技術とソフトウェア技術の進歩により、より効率よくMRI信号を取得できるようになりました。そのため、検査時間を変えずに診断に役立つ画像を追加したり、少し時間をかけてより高画質な画像や追加画像を取得したりと、患者さんの状態や検査目的に合わせた、より柔軟な検査が可能になりました。

？
MRIが新しくなることで、患者さんにはどのようなメリットがありますか？

新しいMRI装置の導入により、患者さん一人ひとりの状態に合わせた検査が行いやすくなりました。例えば、腰や膝の痛みなどで長時間同じ姿勢を保つことが難しい方には、検査時間を短縮できる撮像方法を選び、負担の軽減に努めます。一方で、必要に応じて高画質な画像や診断に役立つ追加画像を取得することもでき、より精度の高い検査につながっています。

？
MRIというと「音が大きい」「狭くて怖い」というイメージを持つ患者さんも多いですが、新しい装置ではそのあたりはどう変わりましたか？

MRIの構造上、「音が大きい」「狭く感じる」といった点は大きく変わりません。しかし、検査室の照明をLEDに変更し、室内もより明るい雰囲気になりました。また、リラックスできる音楽を流せるようになり、少しでも安心して検査を受けていただける環境づくりに努めています。

？
患者さんに安心して検査を受けてもらうために心がけていることはありますか？

MRI検査は「音が大きい」「狭くて怖い」「検査時間が長い」と、患者さんにとって不便なことが多い検査です。そのため患者さんにしっかりと説明をして納得してもらい、患者さんと私たち技師が共に検査が上手くおこなえるように信頼関係を築くことが大切であると心がけております。

？
地域の皆さんや、これから検査を受けられる患者さんに向けて、メッセージをお願いします

私たち美摩病院 放射線室の使命は、「地域の皆さんに信頼される放射線技師であること。」だと考えております。皆さんから「美摩病院で検査をして良かった。また何かあったらあそこに行こう。」「また頼むわな。」と言っていただけるよう、日々研鑽を続けてまいります。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。

▼ 臨床写真



セミセルフレジ導入しました

美摩病院では8月上旬より、患者様の利便性向上と、よりスムーズなお会計を目指して、セミセルフレジを導入しました。受付スタッフが会計登録後、患者様ご自身で現金またはクレジットカードを選択し、お支払いいただく方式となります。今後も、皆様に安心して快適にご利用いただける病院づくりに努めてまいります。



ご不明な点がありましたら
お気軽に
スタッフまで！



2026かもじま阿波おどりに協賛しました！



▲ ゲートには病院名も掲載！



▲ 病院にも訪問いただいたきらく連様



▲ 当院が応援するFC徳島の選手達

施設で演舞を披露してくださった美摩病院と関係者の皆さま、開催に尽力された関係者の皆さま、ありがとうございました。当院は地域に根付く伝統や文化を大切にし、地域の皆さまとともに歩んでまいります。



8月16日、鴨島駅前通りで当院も協賛した「2026かもじま阿波おどり」が開催されました！
駅前通りのゲートには「美摩病院演舞場」の看板を設置いただきました。来場者に配布された「わの裏面には当院の名前も掲載していただきました。地域の皆さまとともにも、一夜限りの特別な催しを盛り上げる一員となれたことを、大変うれしく感じていました。

時折雨が降る空模様とはなりましたが、たくさんさんの観客でにぎわい、8月13日に美摩病院と関係者

新入職員紹介

2026.05
～
2026.08

よろしくお願いします！

美摩病院
看護師



小笠 紀子

美摩病院
看護師



川村 千恵

美摩病院
看護師



伊代野 有里

美摩病院
准看護師



田島 実子

美摩病院
准看護師



福田 彩

美摩病院
放射線技師



稲田 祐希

美摩病院
放射線技師



横山 大二郎

美摩病院
理学療法士



野回 聖

美摩病院
管理栄養士



奥 野乃花

やすらぎ荘
介護職員



ケンジゴトケン

訪問リハ
理学療法士



野々瀬 裕太

訪問看護
看護師



川真田 真未

栄養室便り

毎日の食事に「+小鉢 1皿の野菜」を ～知っておきたい野菜の新しい役割～

徳島県が推進する「徳島県食生活指針」では、健康寿命の延伸に向けて野菜摂取量の増加や食生活の改善が呼びかけられています。厚生労働省が掲げる1日の目標量(350g以上)に対し、あと「小鉢1皿分(約70g)」の野菜が不足しているのが現状です。

「野菜＝ビタミンや食物繊維」というイメージが定着していますが、近年は栄養学や医療の現場で、さらに多様な役割が注目されています。

1. 体のバランスを整える「アルカリ性食品」

お肉やご飯中心の食事は体内で酸性の代謝物を増やし、骨や臓器に負担をかける一因となります。アルカリ性食品である野菜を適度に摂ることは、体内の「酸塩基バランス」を整え、内臓の負担を和らげる手助けになります。

2. 慢性腎臓病(CKD)における考え方の変化

かつて慢性腎臓病の食事療法では一律に厳格な野菜制限(カリウム制限)が行われていましたが、近年はガイドライン等でも見直しが進んでいます。野菜に含まれる食物繊維が腸内環境を整えて不要な物質の排泄を助けることや、体内のアルカリ化が評価され、患者様の状態に合わせて適切に取り入れる重要性が再認識されています。※カリウム制限の必要性は病期(ステージ)や血液検査データにより異なります。治療中の方は自己判断で増やさず、必ず主治医や管理栄養士にご相談ください。

3. 今日からできる野菜のちょい足し

特に朝食やお弁当は野菜が不足しがちです。調理をしなくても、ちょっとした工夫で手軽に野菜をプラスできます。

★洗って添える・持っていく:ミニトマト、キュウリ、茹でブロッコリーを朝食に添えたり、タッパーに詰めてお弁当と一緒に持参する。

★市販品に追加:冷凍食品やインスタントスープに、冷凍野菜(ブロッコリー、ほうれん草、オクラ等)や乾燥キャベツ、乾燥ワカメをポンと足してみる。

料理をしなくても、いつもの食事に少し足すだけで目標に近づけます。当院では一人ひとりの病状や生活に合わせた栄養指導を行っております。お気軽にご相談ください。



外来医師勤務表(令和8年5月1日～)

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	香川	富本	山口 安藤 (消化器)	安藤	山口	安藤	香川	堀内	高橋	難波	難波	堀内
形成外科	長江	✋手術	長江	✋手術	長江	✋手術			長江	✋手術		
皮膚科				高橋						高橋		
整形外科	美馬		徳大 医師		美馬	曾川	緒方	曾川	曾川	曾川	10:00～ 曾川 徳大整形 (月1回)	曾川
リウマチ	四宮		和田	和田 ～16:00	四宮	四宮	四宮		四宮 (3w)			
脳外科		坂東				坂東		徳大医師 (2・4w)				坂東 (2・4w)
眼科					美馬(知)				美馬(知)			

病院概要

診療科:整形外科、形成外科、皮膚科、リウマチ科、内科、外科、脳神経外科、
リハビリテーション科、眼科

診療時間:午前9時～午前12時 午後2時～午後6時(受付は17時30分まで) ※日曜、祝日は休診

入院病棟:回復期リハビリテーション病棟:60床

一般病棟:37床(うち地域包括14床) 介護医療院美摩病院:58床

通所リハビリテーション 定員30名 訪問リハビリテーション

関連施設



介護老人保健施設やすらぎ荘
☎ 0883-24-6564



サービス付き高齢者向け住宅せせらぎ
☎ 0883-24-3066



サービスステーションみま
☎ 0883-26-0850



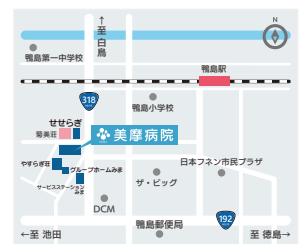
グループホームみま
☎ 0883-26-0250



グループホームみま石井
☎ 088-674-0234



デイサービスくつろぎ
☎ 088-674-6210



編集後記

今号は夏的话题を中心にお届けしました。夏の疲れが出やすい時期です、皆さまが健やかに実りの秋を迎えられますよう、心よりお祈り申し上げます。

(広報誌せいほう編集部)